

令和3年度 第1回ナセ BA 運営協議会議事録

1. 開催日時 令和3年8月3日(火) 午後3時～午後4時40分

2. 開催場所 ナセBA1階・体験学習室

3. 出席者 6名出席

(委員)

我妻 仁(我妻社会保険労務士事務所・協議会会長)

北口 己津子(米沢女子短期大学・協議会副会長)

佐藤 敬一(高等学校校長(米沢商業高等学校))

渡部 純子(塩井コミュニティーセンター)

田中 明子(米沢商工会議所)

白田 静雄(地元商店街)

(事務局)

公益財団法人米沢上杉文化振興財団

種村信次(理事長)、岸順一(副理事長兼図書館長)、渡部洋己(常務理事兼事務局長)、青木昭博(副館長)、石黒志保(郷土資料担当)、遠藤朋香(図書業務担当)、齊藤かおり(図書業務担当)、福石敏史(図書業務担当)、齋藤佳奈(総務企画担当)

4. 開会(事務局)

5. あいさつ(理事長)

今年一番の暑さの中、またお忙しい中出席していただき、心から厚く御礼申し上げます。ナセBAはコロナの影響を大変受けており、昨年度から対策をしながら運営している。そのような中、今年5周年を迎え、周辺の皆様に協力してもらいながらイベントも開催した。また、東側の市道にはダラス通りという名称もつけてもらい皆様から愛される図書館になっていると実感している。

今年度は、昨年度と比べると貸出冊数が増えており、入館者も令和元年度の実績程度に戻りつつある。皆様に愛される図書館になれるよう、今日の運営協議会で率直なご意見を頂戴したい。

7. 委員自己紹介

8. 職員紹介

9. 協議

(1) 令和2年度事業報告及び財団運営自己評価について（報告）

（委員）ブックスタートが計3回中止になったが、中止になった分の絵本はどうなったのか。

（事務局）今年度もブックスタートは開催している。昨年度から引き続き図書館の職員中心で行っている。一昨年まではサポーターも参加できたので、読み聞かせ後絵本を手渡ししていた。昨年度中止になった分は、対象者に図書館に来ていただいて希望の本を選んでいただき、お渡しした。

（委員）サポーター活動について、直接利用者と触れ合うのが難しいのであれば、教育事業でYouTubeなどのオンラインを活用してみるといいのでは。また、寄付について、もし可能であればどのように活用したかポスターなどで掲示すれば、寄付を募れるのではないか。

（事務局）図書館は昨年度、近野教育振興会から2万円寄付をいただいた。寄付金は、スタンプラリー景品の図書カードに使用した。財団としては、寄付の申し出があれば対応している。

(2) 令和3年度 市立米沢図書館・よねざわ市民ギャラリーの主な事業について（報告）

（委員）令和3年度事業計画の教育事業について、子どもの読書活動を推進する事業は充実している。しかし、本に興味がない一般の大人向けイベントがないように感じる。もっと大人向けのフェアをやっていただきたい。図書館に興味がない大人が興味を持つきっかけとなるようなPRをしていただきたい。また、コミセンで新聞の本の紹介欄を参考にして、図書館にあるか調べてから購入する方々がいる。その方々は新聞から読みたい本を見つけられるが、新聞を読まない人もいるので、そのような人たちが本を知ることができるようなフェアをやってほしい。大人だけ、子どもだけという線引きはせず、大人も子どもも楽しめるバランスのいい企画をすれば良いのでは。

（事務局）大人向けの読書会や本の特集を組んでいる。本の魅力を発信するような企画をやっているが、多くの方が知らないという現状からすれば、宣伝不足と言わざるを得ない。情報発信の仕方を改善しなければならない。どういう企画をすると本の魅力を伝えられるか、中長期的に考えていきたい。また、読書活動を推進する事業の計画は、毎年夏は子ども、秋は大人向けのフェアを開催するようにしている。したがって、秋の読書週間図書館フェアは子どもだけでなく大人向けのイベントである。秋はなるべく大人向けのイベントを開催できるように心がけていきたい。

(3) 新生活様式の中での図書館サービスについて（報告）

ナセBA5周年を迎えての利用者アンケート調査について（実施計画）

（委員）図書館の魅力を伝えるのはいいこと。絵図や豆本の活用などをしてみてはどうか。

（事務局）先人顕彰コーナーで6回絵図の展示を行った。いろいろな本の形に興味を持っている方々はいらっしゃるので、本の形態に着目した展示も考えていきたい。

（委員）先人顕彰コーナーは見逃されてしまうことがあるので、ギャラリーを使用して展示してはどうか。

（事務局）今年の3月に開催した展示で、外部の協力を経てギャラリーを使用した展示を行った。

当館だけで開催は難しいので、様々に協力をいただきながら企画していきたい。

(委員) 高校の図書委員会と連携していくのは非常にいいこと。ぜひ強化していただきたい。図書委員会との連携は、ティーンズコーナーづくりだけでなく、図書の魅力の発信についても連携していくのはどうか。また、高校生に図書整理や図書修復など実際に働いてもらうのはどうか。

(事務局) 高校生のサポーターがいるが、コロナで集められない。コロナが落ち着いたらぜひやりたい。高校生が図書館について魅力を発信するような連携についてもぜひお願いしたい。

(委員) 子ども向けに読書通帳があるが、有料でもいいので大人向けに作っていただけませんか。

(事務局) 以前、市民からの要望もあって大人用の読書通帳機の増設を市に要望したが、予算の関係でできなかった。今後は、子ども用の通帳機の更新も予定され、予算的には難しい状況である。このようなご意見があったことは市に伝えたい。なお、今年の4月から配布対象を米沢市内から置賜地区に広げた。

(委員) 本のリクエストについて、コミセンの利用者が新聞の本の紹介欄からリクエストをするというお話があったが、コミセンと図書館の連携をしてみてはどうか。コミセン利用者が、コミセンを通じて図書館が本を購入するプロセスに参加することができるのは利用者にとって嬉しいことだと思う。

(事務局) リクエストについては、なるべくお答えしたい。また、アタゴオルでも個人やコミセンの利用者からリクエストを受け付けている。ジャンルやテーマに合わせて持って行くサービスもしている。選書の参考にもなるので、要望等あったらお申し付けいただきたい。委員から提案していただいた、コミセンを通じてリクエストできる仕組みづくりも検討していきたい。

(4) その他

委員全員から全体を通して意見や感想等をいただいた

(委員) コロナ禍で大変な中、感染対策をしながら運営していただき、感謝の気持ちを述べたい。前回の会議で商工会議所の情報の活用の話があったが、さっそく対応していただいた。また、図書館のHPは、見やすいと思うが、米沢にまつわる偉人（鷹山、渋沢栄一など）についてのコラムを設けてはどうか。コラムが難しいのであれば、図書館だよりで紹介をしてみてはどうか。これからも米沢市民に愛される図書館に育ってほしいと思う。また、近々図書館の近くでイベントがあるので、図書館に興味がない方も来てもらえるようなきっかけになってほしい。

(委員) 少人数でこれだけの仕事をしている皆さんに敬意を表したい。大事なのは若い人たちに状況を伝えていくこと。読書が重要ということを伝えるには図書館のあり方が大事になっていくので、一緒に守っていきましょう。

(委員) ギャラリー、図書館で開放的なイベントをやれば、多くの人が来館すると思う。図書館内でイベントの時だけでも飲食に関しての対応をしていけばいいのではないかな。みんなで盛り上げられるイベントをやってほしいと思う。

(委員) 市立米沢図書館は魅力的な図書館だと思う。また、図書館概要より、図書カード登録者数

について 30 代～40 代がもっとも登録数が多いということに驚いた。勉強になった。

(委員) コロナ禍により、オンラインに対する抵抗がなくなったので、図書館としてもサービスの届かない人に対してサービスが提供できるようになった。また、アンケート調査の回収率を上げるために何かしらの特典があれば、回収率が上がるのではないか。

10. 閉会

(事務局) 皆様からいただいたご意見をもとによりよい運営に努めて参りたい。次回の運営協議会は、来年 1 月開催を予定している。また、貴重書庫の燻蒸を 10 月 4 日 17 時から 10 月 7 日まで行うので、その間臨時休館とする。

現在、夏休みこども図書館フェアや、先人顕彰コーナー（多目的展示室）で「新聞記事で振り返る夏季オリンピック 1952～1988」の展示をしているので、お時間ある方はご覧いただきたい。長丁場のご協議ありがとうございました。

以上